

令和元年度第2回山元町教育委員会臨時会会議録

1. 招集日時 令和元年8月19日(月) 午後3時00分
2. 招集場所 山元町役場 第3会議室
3. 出席委員 教育長 菊池卓郎 委員 大内悦夫
委員 菅野正彦 委員 古泉可奈
欠席委員 齋藤房江
4. 説明のため出席したもの
教育総務課参事 武田義弘 中央公民館長 伊藤常則
生涯学習課生涯学習班長 伊藤和重
5. 本委員会の書記
教育総務課総務班長 大石知也
6. 開 会 午後3時00分

教育長 令和元年度第2回山元町教育委員会臨時会を開会する。
なお、齋藤委員から、本日の会議を欠席する旨の連絡がありましたので報告します。また、教育総務課長 佐藤につきましては公務出張のため欠席いたします。生涯学習課長 佐山につきましては、体調不良のため本日欠席となり、生涯学習班長の伊藤が代理出席をいたしますので、ご了承願います。

教育長 日程第1 議事日程の朗読。
教育総務課総務班長説明願います。

教育総務班長 本日の議事日程の朗読を行います。
日程第2 会議録署名委員の指名
日程第3 報告第1号 埋蔵文化財発掘に伴う訴えの提起に関する
和解について
日程第4 議案第1号 新中学校の校名について
日程第5 その他 (1) その他
以上で、ございます。

教育長 日程第2 会議録署名委員の指名
今回は菅野委員と古泉委員になります。

教育長 日程第3 報告第1号 埋蔵文化財発掘に伴う訴えの提起に関する
和解について、事務局説明願います。

生涯学習班長 はい。説明させていただきます。
前回の教育委員会定例会において、ご説明をさせていただきました埋蔵文化財発掘に伴う訴えの提起に関する和解についてですが、8月1日に開催された議会臨時会で承認をいただきまして、8月7日の和解期日において、お互い了承のもと和解となっております。添付資料の第7回弁論準備手続き調書のとおり和解が成立しておりますので、ご報告いたします。

内容については、前回説明させていただいた内容と同じとなりますので、割愛させていただきます。

今後の流れとなりますが、9月の議会定例会において補正予算として、2,368万9,283円の歳入予算と弁護士への成功報酬金254万8,800円を歳出予算として計上させていただきました。議会の議決後、予算の執行をもって全てが完了することとなります。

以上でございます。

教育長 ご質問等あれば、伺います。

(「無し」の声有り)

教育長 日程第4 議案第1号 新中学校の校名について、事務局説明願います。

教育総務課参事 はい。説明させていただきます。
まず、これまでの経緯につきまして、中学校再編準備委員会において応募用紙等について検討し、7月1日から31日まで募集を行いました。その募集結果について、8月6日に代表者会を行い新中学校の校名案を選定しましたので、本日は校名案について提案させていただきます。
今回の募集の周知につきましては、広報やまもとや町ホームページに掲載するとともに、応募ボックス設置場所以外に通勤通学者のことも考え、山下駅、坂元駅に応募用紙を置き、また、町内6つの小中学校では、子どもたちを通じて、各家庭に応募用紙を配布し、学校の応募ボックスにも応募用紙を置いて、先生方からも子どもや保護者の方に声がけをし

ております。

集計結果をご覧ください。

応募数の合計ですが、計96件で、応募場所別、年代別の応募数はご覧のとおりです。校名別応募数ですが、山元中学校が一番多く38件でした。その他の校名については、ご覧のとおりです。

山元中学校と応募した年代別の応募数ですが、小学生が24件ですので、応募した小学生の60%以上が山元中学校と応募していたこととなります。

また、60代以上につきましてもほぼ半数が山元中学校と応募しております。別紙資料については得票順の集計表となります。

代表者会での選定については、得票数の多さで行うのではなく、応募の際に書いていただいた理由を検討材料とすることを確認して協議を行いました。

協議では、少数意見を読むと新しい中学校への熱い思いが感じることや、町の鳥であるつばめや町の木である黒松を大事にしていることも意見として挙げられ、松燕中や翔志中などの要望もありまして、例えば山元松燕中や山元翔志中ということも考えられるのではないかという意見もありましたが、次の理由から山元町立山元中学校を再編準備委員会としての校名案としました。

町に一つの中学校となること、聞きなれた響きであること、山下村と坂元村が合併してできた名前という歴史があること、どの年代にもなじみがあり、違和感がないこと、子どもたちに地元への愛着を持ってほしいということ、小学生にもなじみやすく、自分が将来入る学校として身近に感じてわかりやすいこと、を選定理由としております。本日の臨時会で皆様からのご意見をいただき、新中学校の校名を決定していただければと思っております。

今後の日程につきましては、本日、決定していただきまして、明日20日の山元町議会全員協議会において、本日、皆様に説明したことや本日決定しました新中学校の校名について説明いたします。

その後、8月30日からの議会定例会において山元町立小中学校の設置に関する条例の一部を改正する条例について提案することとなります。

説明は以上でございます。

教 育 長

ご質問・ご意見を伺います。

大内委員

山元中学校で異議ありません。

菅野委員 大人になって、別な所に住んで中学校はどこだったという時に、自分の学んだ学校はということになり、自分の住んでいた町の中学校だということで、山元町の中学校で山元中学校がいいと思います。

また、山下村と坂元村の合併で山元町ができて人口も少なくなつて厳しいところもありますので、山元町は一つの考えを大切に、一つの町として取り組めるように進めていければいいのかなと思います。

古泉委員 同じように、皆なじみもあるしよい名前だと思います。アンケートの内容もすごく皆さんが町のことを思つて考えてくださったこともわかつて、町を大事にしている思いなどもすごく伝わってきましたので、今回採用されなかった案も沢山ありますけれども、このような結果を他に活かせることもあると思いますので、アンケートが無駄ではなかったとも思います。

教育総務課参事 本日欠席されております齋藤委員についても先日説明をさせていただきまして次のようなご意見をいただいております。

伝統ある町なので、非常によいのではないかということ、地元愛が感じられて非常によいのではないかということ、地元の山元の名前が多くの方から選ばれたことから、愛着があつて自分たちの町の一つの中学校となり、自分たちでこの一つの中学校を育てようという気持ちを感じられる名前だということで、賛成だというお話を伺つて参りました。

以上です。

教育長 ありがとうございます。校名については、再編準備委員会の代表者会で山元町立山元中学校という案を出していただきましたが、全員賛成ということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声)

教育長 異議なしと認め、議案第1号 新中学校の校名についてを提案のとおり承認する。

教育長 以上をもって、令和元年度第2回山元町教育委員会臨時会を閉会する。

7. 閉 会 午後3時23分

教育総務課総務班長 大石 知也

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

令和元年8月23日
会議録署名委員 菅野正彦

令和元年8月23日
会議録署名委員 古泉可奈